

9月30日（水）、2か月ぶりの理事会を開いた。

◇出版編集委員会

「GALAC」11月号は特集が「こんな生番組が見たい!」。表紙は高橋克実さん。ザ・パーソンは中國ミホさん。12月号は「民主党政権でテレビはどう変わるか?」を特集する。表紙は相葉雅紀さん。ザ・パーソンは富野由悠季さん。

「GALAC」の記事を9月から毎週一本ずつニフティで配信し始めた。閲覧数も多く今後記事を増やしていきたい。

鈴木典之会員らが編集してきた「全国テレビドキュメンタリー」を2010年版から放懇の編集にできないかという提案については、具体案をもとに検討したが、人的、予算的に難しいという報告があり、

議論の末、放懇の事業として編集をするのは無理と判断した。2010年版については従来と同じように受賞リストなどの転載の協力をする。また会員が個々に執筆協力をすることには理事会は関与しないことにした。

◇選奨事業委員会

〈テレビ部門〉

ギャラクシー賞の上期の応募は8月までの番組については、去年より10本少なかった。内容はよいものが多い。

〈ラジオ部門〉

9月20日に10回目の「ギャラクシー賞入賞作品を聴いて、語り合う会」をTBSで開き66人が参加した。初めて参加した人が半数だった。

番組コンクールの入賞作品を放

送したNHK・BSの「ザ・ベストテレビ」のラジオ版ができぬかと民放数社に打診したり、外部団体の支援の可能性をリサーチしたが、難しい面があり、NHKにも打診している。

〈CM部門〉

ギャラクシー賞上期の応募は102本で去年より51本減った。

〈報道活動部門〉

ギャラクシー賞上期の応募は7本だった（去年上期15本）。

「テレビ報道活動・ギャラクシー受賞作を見て、制作者と語る会」を今年は11月7日に日本大学芸術学部で開く予定で準備を進めている。

◇企画事業委員会

2010年のシンポジウムを3月8日（月）に都市センターホールで開くことを決めた。今回は政権交代下の放送秩序の方向性、広告メディアの変容、デジタル時代の地方局の経営などをテーマに出演者の選定を進める。

◇日韓中TV制作者フォーラム

10月14日～17日韓国の仁川で開かれる第9回日韓中テレビ制作者

フォーラムに放懇から坂本衛理事、久野明事務局員を派遣する。ほかに隈部紀生専務理事、中町綾子会員も個人参加する。

◇記念事業プロジェクト報告

志賀基金の活用や50周年記念事業について検討するプロジェクトの第1回会合を7月30日に開いた。その席で①放送評論を対象に志賀特別賞をつくる、②DVDで優れた番組の映像を残せないか、③放懇が編集発行してきた雑誌「放送批評」「GALAC」の代表的論文・記事から抜粋して50周年記念に出版できないかなどの意見が出た。②は著作権の問題で困難が多いが、①と③については今後具体的に詰めていくことにした。

◇その他

11月18日幕張で開く「NAB東京セッション」に後援名義の使用を了承した。

◇入会の承認

原真さん、田中早苗さん

◇退会の承認

伊藤洋子さん

◇理事会の日程

10月理事会は10月28日（水）、11月

理事会は11月30日（月）、どちらも午後6時30分から。

「出席」

音好宏、隈部紀生、市村元、五井千鶴子、小林毅、坂本衛、嶋田親一、滝野俊一、丹羽美之、橋本隆、藤久ミネ、山田健太

会議記録

「8月」	10日	（選奨）ラジオ定例部会
	20日	出版編集委員会
	27日	企画事業委員会
	28日	（選奨）テレビ月評会
「9月」	17日	（選奨）ラジオ定例部会
	28日	企画事業委員会
	29日	（選奨）CM定例部会
	30日	理事会

☆ギャラクシー賞マイベストTV賞☆

2009年9月度の投票も始まりました!

ギャラクシー賞マイベストTV賞2009年9月度作品の投票を開始します。正会員の皆さまは、添付した〈正会員専用 投票用紙〉でマイベストTV賞の投票にご参加ください。

リスト以外の作品を記入できる欄もあります。ご活用ください。

ウェブまたは携帯サイトから参加の場合は、正会員専用のユーザー名、パスワードを使って投票ページに入ってください。

正会員の皆さまのご参加をお待ちしています!